

はじめに



「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」 3年間を振り返って

学長 村上 雅人

まず最初に、過去3年間本学の文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の活動にご尽力・ご協力いただいた数多くの方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本学は、『「まちづくり」「ものづくり」を通じた人材育成事業』により、平成25年にCOC事業に採択され、当初7つのプロジェクトを立ち上げました。

江東区・港区を中心とした東京ベイエリアと埼玉県・さいたま市近隣の埼玉エリアの自治体、企業、運河ルネッサンス協議会等の諸団体との連携を深め、学生による地域志向教育研究活動の機会を広げてまいりました。その中には新聞・TV等のマスメディアに取り上げられた活動や成果も出てきています。

自治体との連携では、江東区・港区との包括連携協定に続き、さいたま市とはイノベーションに関する連携協定書を締結いたしました。2016年度にはさらに連携を広げるべく準備を進めています。

また学内においては、主要な学内会議やFD-SD研修を通して、COC事業の報告機会を設け、全学的な普及に向けて活動してまいりました。それにより、地域志向科目の必修化に対する全学的な取り組みや研究室間の連携が進み、参加教員・参加プロジェクトが増え、3年目は19プロジェクトにて活動を展開しています。

この3年間を振り返ると、「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」という本学の建学の精神に則った実践教育の拠点形成を着実に進めてこれたのではないかと、という手応えを感じております。

本事業は残り2年となりますが、この事業期間の中で事業終了後も社会に還元できる持続的な活動として定着させ、さらなる発展につなげることが求められています。

私はかねてより、天然資源の少ない日本は、付加価値の高い移転可能な技術を資源とする技術立国を目指すべきであると考えており、その技術をグローバルに展開できる理工系人材の育成を、本事業の中においても当初からの目標として掲げてきました。

グローバル展開の足掛かりとして、本年度、政府機関・企業・アジアの大学との産学官連携によるGlobal Technology Initiative Consortium (GTIコンソーシアム)を発足させました。

地域の企業や自治体、近隣の大学のご参加をいただき、グローバル化においても地域と連携し、地域と共に発展し、地域と共に有為なグローバル人材を育てていく所存です。

本報告書はCOC事業3年間を経過した中間時点での事業展開の活動および成果の報告となります。

関係者の皆様には、ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸甚です。

今後とも、本学の諸活動の推進についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

成果報告書およびコンテンツの取り扱いについて

本書の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

複製が必要な場合は、下記までお問い合わせください。

芝浦工業大学 複合領域産学官民連携推進本部

email: sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp tel: 03-5859-7180 fax: 03-5859-7181